

平成28年度「見える」安全活動コンクール

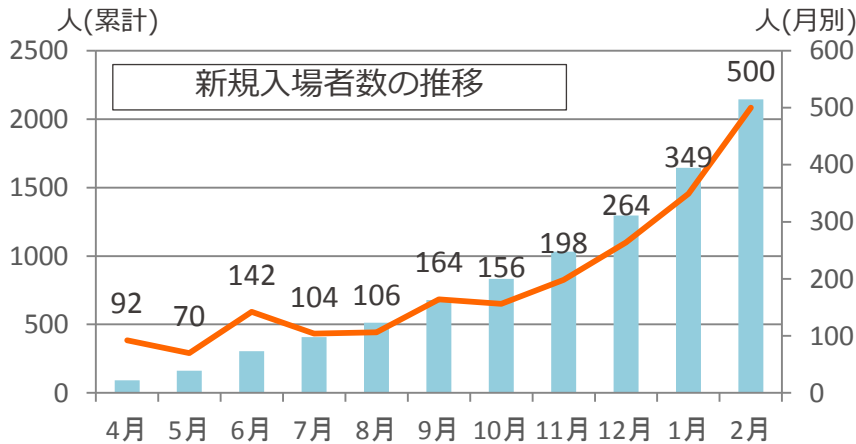
■ iPadを活用した新規入場者の「見える化」

カメラ機能で同時投影

毎朝の安全朝礼における、新規入場者の自己紹介にiPadを活用しています。

工事の進捗に合わせ、毎月100名規模で作業員が入れ替わるため、毎日十数名の作業員が現場に新規入場しています。

死亡災害の4分の1を占めると言われる新規入場者の自己紹介をスクリーンに顔を投影して行うことにより①全作業員に入場者を周知②入場者一人ひとりが「見られている」ことを認識し、安全作業への意識向上を図りました。



①iPadのカメラで新規入場者を撮影

③プロジェクターに接続映像をスクリーンに同時投影

②Bluetooth(無線)でappleTVに出力



スクリーン

